

戦略的創造研究推進事業 CRESTタイプ
平成18年度 公開シンポジウム

参加費無料
(交流会参加者は、当日3,000円徴収)

マルチスケール・マルチフィジックス現象の 統合シミュレーション

主催 独立行政法人
科学技術振興機構 (JST)

会場 東洋大学 白山キャンパス
井上円了ホール

日時:平成18年11月20日(月)~21日(火)

2006.11.20 (mon)

- 13:30~13:45 研究総括挨拶
矢川元基 (東洋大学 計算力学研究センター センター長)
- 13:45~14:20 全球雲解像大気モデルの熱帯気象予測への実用化に関する研究
佐藤 正樹 (海洋研究開発機構 地球環境フロンティア研究センター サブリーダー)
- 14:20~14:55 海洋生態系将来予測のための海洋環境シミュレーション研究
山中 康裕 (北海道大学 大学院地球環境科学研究科 助教授)
- 14:55~15:30 災害予測シミュレーションの高度化
高橋 桂子 (海洋研究開発機構 地球シミュレータセンター グループリーダー)
- 15:55~16:30 海洋循環のスケール間相互作用と大規模変動
羽角 博康 (東京大学 気候システム研究センター 助教授)
- 16:30~17:05 観測・計算を融合した階層連結地震・津波災害予測システム
松浦 充宏 (東京大学 大学院理学系研究科 教授)
- 17:05~17:40 DDSシミュレータの研究開発
三上 益弘 (産業技術総合研究所 計算科学研究部門 副部門長)
- 18:00~20:00 研究交流会

2006.11.21 (tue)

- 09:30~10:05 超伝導新奇応用のためのマルチスケール・マルチフィジックスシミュレーションの基盤構築
町田 昌彦 (日本原子力研究開発機構 システム計算科学センター 研究主幹)
- 10:05~10:40 ソフトマターの多階層/相互接続シミュレーション
山本 量一 (京都大学 大学院工学研究科 助教授)
- 10:50~11:25 ナノバイオ系のシミュレーションとダイナミクス
平尾 公彦 (東京大学 大学院工学系研究科 教授)
- 11:25~12:00 凝集反応系マルチスケールシミュレーションの研究開発
—大規模原子情報の疎視化・再構成技法・疎視的理論の開発—
長岡 正隆 (名古屋大学 大学院情報科学研究科 教授)
- 13:00~13:35 QM (MRSC+DFT) /MM法による生体電子伝達メカニズムの理論的研究
高田 俊和 (日本電気株式会社 基礎・環境研究所 主席研究員)
- 13:35~14:10 ナノ・メゾ・マイクロの複雑固液界面の大規模数値解析
尾形 修司 (名古屋工業大学 大学院工学研究科 教授)
- 14:10~14:45 計算量子科学によるナノアーキテクチャ構築
押山 淳 (筑波大学 大学院数理工学系研究科 教授)
- 15:15~16:00 特別講演
次世代スーパーコンピュータプロジェクトとその技術課題
渡辺 貞 (理化学研究所 次世代スーパーコンピュータ開発実施本部 プロジェクトリーダー)
- 16:00~16:35 生体系の高精度計算に適した階層的量子化学計算システムの構築
天能 精一郎 (名古屋大学 大学院情報科学研究科 助教授)
- 16:35~17:10 複雑分子系の複合分子理論シミュレーション
諸熊 奎治 (京都大学 福井謙一記念研究センター) リサーチリーダー

案内図



〒112-8606 東京都文京区 白山5-28-20
東洋大学 白山キャンパス 井上円了ホール

- 都営地下鉄三田線「千石」駅
・A1出口から「正門・西門」徒歩8分
- JR山手線「巣鴨」駅
・南口から「正門・西門」徒歩20分
・都営バス10分
(「浅草橋門」行「東洋大学前」下車)
- 都営地下鉄三田線「白山」駅
・A3出口から「正面・南門」徒歩5分
・A1出口から「西門」徒歩5分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅
・1番出口から「正門・南門」徒歩8分

お問い合わせ

独立行政法人 科学技術振興機構
戦略的創造事業本部 研究領域総合運営室
〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8
川口センタービル6F

TEL: 048-226-5904
FAX: 048-222-1437
URL: <http://www.multi.jst.go.jp/>



独立行政法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

※プログラムの内容および終了時間は変更となる場合があります。